

みんな で創る共生社会

多様なアクターの連携で、まちを元気に！

少子高齢化の進行や経済のグローバル化に伴う貧富の格差の拡大など、社会構造が急激に変化する中で、社会的孤立、児童虐待、生活困窮者の拡大など、解決困難な福祉課題が山積しています。

こうした中、複雑化する福祉課題の解決に向けて、当事者ニーズにきめ細やかに対応する市民活動団体や社会福祉法人が、本市においても活発に活動を展開しています。

今年4月に茅ヶ崎市でスタートした新しい福祉施策(重層的支援体制整備事業)では、「地域の社会資源を幅広くアセスメントした上で、世代や属性を超えて住民同士が交流できる多様な場や居場所の整備を目指す『地域づくり事業』を行う」としています。今後は、「誰ひとり取り残さない」社会の実現に向け、制度や分野の「縦割り」や「支え手・受け手」という関係を超えて、行政、社協、市民活動団体、社会福祉法人などの多様なアクターが、連携・協働して地域共生社会を形成することが期待されています。

今回のイベントでは、市福祉政策課の担当者を招き、重層的支援体制整備事業の現状と今後の課題について話を聞いた後、多様なアクターが連携・協働しながら地域共生社会を実現していくためのアイデアを、参加者間の対話を通じて考えます。

共生のまちづくりに関心を寄せる自治体・社会福祉法人・NPOスタッフの皆さん、本テーマに関心のある市民の皆さん、ぜひご参加ください！

●日時： **8月 20日 (土) 14時～16時**

●場所：ちがさき市民活動サポートセンター (茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7)

●話題提供者：

白井 宏さん <茅ヶ崎市福祉政策課職員>

市役所入庁後、生活支援課、保育課でケースワーカー業務に従事。

現在は、福祉政策課で重層的支援体制整備事業を担当。

プライベートでは2児の父、2か月に1回のゴルフを楽しみに公私ともに奮闘中。

●参加費：100円 (資料代)

●定員：20名

●申込方法：メール、電話で申込(先着順) <申込締切> 8月17日(水)

※メールの場合は、件名「SDGs ネットワーク事業参加希望」、

お名前(ふりがな)・連絡先電話番号・所属・メールアドレスを明記してください。

●その他：新型コロナウイルス感染症の状況次第ではオンライン開催となる可能性があります。

●主催：認定 NPO 法人 NPO サポートちがさき

(ちがさき市民活動サポートセンター指定管理者)

■問合せ・申込先 ちがさき市民活動サポートセンター (担当：小山、佐野)

E-mail : s-center@pluto.plala.or.jp 電話 : 0467-88-7546

